

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 10月 20日

事業所名 多機能型通所支援事業所 りんごの樹

	チェック項目	はい	いいえ	改善点・工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スペースは確保できている。子どもの状況によってはスタッフルームを活用する場合もある。
	2 職員の配置数は適切である	○		利用児童数に対し、職員配置は適切である。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内の小さい段差は解消処置を行っているが、建物の構造上バリアフリーではない箇所については、注意するよう声掛けを行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日活動計画を作成し、全体の目標、個別の目標やテーマを設定し、前日の振り返りをスタッフ全員で取り組んでいる。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	今回が初めてのアンケート実施であり、今後保護者様のご意向等を把握できるよう定期的に行っていく予定。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		この自己評価の結果を事業所のホームページで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は受けていない。評価の結果を業務改善につなげていく予定。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		県や市、霧島市こども発達サポートセンターあゆみ等が実施する研修に参加し、専門性を高める努力を積んでいる。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々の活動の中で、子ども達の課題をスタッフで共有し、計画に反映させている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		WISC検査の結果等に基づきアセスメントし、日々の記録で子どもの行動を把握している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々の活動プログラムは、スタッフ全員で取り組んでいる。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動プログラムが固定化しないように、運動や音楽、食育、創作活動等、いろいろな経験が積めるよう工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日や休日、長期休暇等に応じて、活動内容を設定しており、平日は集団活動が中心で土曜日は個別活動を中心に行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの状況に応じて、個別や集団活動を行い、経験を積むことや、得意なことを伸ばせるよう工夫している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前はスタッフ全員で打ち合わせを行い、役割分担を行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後、翌日には振り返りを行い、スタッフ全員で情報共有を行っている。反省点等は次の活動に生かせるように記録している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は全員で書いている。支援内容から今後の支援に繋げられるように、確認している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングを実施し、支援計画の見直しの必要性や保護者の要望などを確認し判断している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供を中心に組み合わせて計画している。地域交流の機会の提供については今後検討していく予定。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議等には、児童発達支援管理責任者や管理者が出席している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		主に保護者から週報をもらって下校時刻を確認している。迎え時に学校での様子や事業所での様子等を情報共有するようにしている。

	チェック項目	はい	いいえ	改善点・工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在のところ、医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		利用前に、相談支援事業所から情報を伺い、就学前の様子等を情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在のところ、学校を卒業した児童はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		こども発達支援センター等の研修を受講しており、研鑽に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	放課後児童クラブとの交流する機会を今後作っていけるよう検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	霧島市基幹相談支援センターの情報交換会に参加予定であったが、コロナウイルス感染防止のため中止となった。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		自宅への送迎の際に、保護者へ状況を報告しており共通理解を持っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者との面談の際、ペアレント・トレーニングの手法を説明し、子どもの時間に活かしていただくよう提案している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に保護者に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		利用児童についての悩みや、他のきょうだいの悩みの相談も受けることがある。必要な場合には関係機関との連携や、他の事業所への相談を案内している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今後、保護者同士の繋がりが持てるよう、保護者会等の活動を計画中である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合には迅速に対応できるよう、体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		夏休みに会報を作成し保護者に活動予定を通知した。通常はホームページを更新し活動状況が分かるよう写真を掲載している。
	35	個人情報に十分注意している	○		利用児童や保護者が特定できるような書類は、事業所外への持ち出しは厳重に注意している。なお、子どもが特定できる写真撮影は行っていない。
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		配慮が必要なご家庭には、口頭やメール等、確認しながら情報を伝達している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在までに地域住民を招待するイベント等は行っていないが、今後検討していく予定。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルは策定しているが、防犯マニュアルは現在作成中である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		夏休み明けに、避難訓練を実施した。今後も定期的に訓練を実施する予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	虐待について適切な対応をとるようスタッフ間で情報共有している。研修は今後研修機会を確保する予定。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		利用契約時に、身体拘束を行う場合について十分に説明し了解を得ている。現在のところ、身体拘束が必要な児童はおらず、緊急に拘束が必要な場面も発生していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	現在のところ、食物アレルギーがある子どもはいない。必要な場合には保護者に確認を得る予定。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々の振り返りの際にヒヤリハットがないか確認しており、ヒヤリハット事例を記録している。	